

粉河高等学校（定時制）

実施日時	平成30年 9月 18日（火） 17:35~20:50
参加者	1年生5名、教職員5名 計10名
実施内容	講義（災害時の避難方法等）、救命救急講習（心肺蘇生法・AED）、非常食（アルファ米）炊き出し・試食、感想文

事前の取組

事前に防災スクールの日時やプログラムの生徒への周知

主なプログラム

(1) 講義（災害時の避難方法等）～那賀消防組合
那賀消防組合東消防署の署員4名を講師に、講義（災害時の避難方法）と救命救急講習（心肺蘇生法・AED）に取り組んだ。

配付された資料をテキストとし、避難準備情報・避難勧告・避難指示の言葉の意味や地震・火災・洪水・土砂災害・台風等のそれぞれの避難方法の注意点やその理由等を考えながら、質疑応答を交え学習した。



(2) 救命救急講習（心肺蘇生法・AED）

まず、心肺蘇生法について、講師先生の実演を見ながら説明を受け、一人一人実習に取り組んだ。その後、AEDの使い方等の説明を受け、AEDを利用した心肺蘇生法に、再度、一人一人取り組んだ。

実技では、特に緊張感をもって臨んでいた。



(3) 非常食（アルファ米）炊き出し・試食

最初に炊き出しの手順の説明を受け、生徒が箱を開封し全員が箱の中に入っているものを確認し、再度、説明書の内容を確認した。その後、生徒はそれぞれ役割を分担し、互いに協力しながら、非常食（アルファ米）の炊き出しを行った。



参加者感想文

- 何回かAEDを利用した心肺蘇生法の講習は受けています。しかし、実際に、いざ事故等の現場に出くわしたとき、今日学んだ心肺蘇生法をするのは難しいのだと思います。そんなときのためにできるように日頃から意識していた方がいいと思いました。非常食（アルファ米）は以外とおいしくて、非常食の進化もすごいと思いました。
- 心臓マッサージが非常に疲れました。誰かが倒れていたり、AEDを利用した心肺蘇生法を必要としている人がいたら、助けたいと思いました。非常食はおいしいと感じました。
- 災害時の避難の方法は、歩きの方がいいと知った。車は速いが、木などで道がふさがれて進めないと教えてもらった。救命救急講習は初めての体験でしたが、力が必要で思っていたより大変でした。AEDは音声で説明してくれるので分かりやすかった。アルファ米の炊き出しは、皆が協力してできたので、スムーズにできました。
- 心臓マッサージは難しかった。AEDを利用した心肺蘇生法はテレビのドラマでみたことがあったから、本当にするのかと思い、ドキドキした。非常食はカレー味だったので、あまりおいしいと思わなかった。
- 非常食の作り方がわかってよかったです。こんなに簡単にすぐできてびっくりしました。でも、それが大事だと思いました。しかもとてもおいしかったです。

成果と課題

那賀消防組合東消防署の方々の指導により、災害時の避難方法、AEDを利用した心肺蘇生法の学習・実習を全員が一人一人学習・体験できた。

地域住民の方の参加に至らなかったが、対象生徒が少人数のため、指導が手厚く、生徒にとって大変有意義な取組となった。